

皆様のゴールデンウィークはいかがでしたでしょうか。本校では、8日間の連休であったためレジャーや休養、高学年では勉強に充実した毎日を過ごすことができたのではないのでしょうか。

さて、ゴールデンウィーク明けの先週は、ほとんどの学年で皆登校することができ、連休明けの「五月病」とは無縁に見える姿で学校生活を送っています！

感じたことから

○体力テスト

8日（金）に、全校一斉に体力テストを行いました。“ソフトボール投げ”“立ち幅跳び”“体前屈”“50m走”“反復横跳び”“上体起こし”を縦割り班ごとに移動しながらチャレンジしました。一人一人がいい記録を出そうと頑張っている姿をととても素晴らしく感じました。それと共に、上級生の測定結果に「すごーい！」という下級生、下級生の頑張り「よく頑張ったね」とやさしく語りかける上級生のつながりもととてもいいなあ、と思いました。



感じたことから

○なかなか結果が出なくても…。

体力テストの結果を嬉しそうに話してくる子ども達がいました。「“反復横跳び”が○回できて嬉しかったです。」「先生、上体起こしが○回もできました。」等です。中には「50m走が○秒で走れるようになりました。去年は△秒だったのに。」と去年からの伸びを実感している子もいました。しかし、去年からの伸びが見られず、ちょっとがっかりしている子もいたようです。

何事もそうかもしれませんが、人それぞれに違いがあるように、いろいろなことの伸びもそれぞれに違いがあるようです。

花壇の花の話になって、申し訳ありませんが、同じように水をまき、肥料をやり、草を取っているにもかかわらず、“たくさん花を早い時期に咲かせる株”と“なかなか花を咲かせない株”があります。しかし、さらに他の花と同様にお世話をし、育てているうちに、ある時から今まであまり花を咲かせていなかった株が急にたくさんの花を咲かせ、一番大きく育っていることもあります。まさしく遅咲きの花です。

人と言えば、ケンタッキー・フライド・チキン創業者のカーネルサンダースさんも、大変遅咲きの人です。六十歳を過ぎたとき、経営していたレストランが閉店を余儀なくされました。ところが彼は、レストランで最も人気だったフライド・チキンに絶対の自信を持っていたので、その販売をあきらめることはありませんでした。その製法をレストランに教える代わりに、一定の権利金をもらえるフランチャイズという世界初のビジネスモデルを考えたのです。サンダースさんは、フライド・チキンの製法を取り入れてくれるレストランを訪ね歩く旅に出ましたが、なかなか話を聞いてくれるレストランはありません。それでも車で寝泊まりしながら交渉を続け、十年後には全米各所のレストランと契約を結ぶまでに至りました。そのとき、サンダースさんは七十歳を過ぎていたのです。



勉強でも同様のことが言えるでしょう。毎日、努力をしても成績が伸びる時期は人それぞれです。伸びる時は、急激に伸びる曲線を描くものです。伸びない時期にやる気をなくしてみたり、周りの人や環境のせいばかりにしては、伸びる時期を失ってしまうかもしれません。今は見えないこれからの伸びのためには“花壇の花へのコンスタントなお世話”や“サンダースさんの信念をもった販売努力”のように、上手いかないときも絶え間のない努力を続けていれば、きっといつかは、急激な成長がみられるはずです。

体力テストでも、日頃からしっかり食べて、しっかり体を動かして、睡眠をとっていただければ健康な身体が培われ、いつかは、これまでの自分をはるかに超える測定結果がみられるに違いありません。